

工大と神大先勝

「初戦は勇気重いのぞ、緊張をほぐすためにも積極的にいった」と、神奈川大の岸川雄二監督(44)。11安打に加えて3盗塁にスクイズのサインなど足と小技を絡め、監督して初のリーグ戦を白星で飾った。

先発には「昨年は試合で使ってもらいながら満足な結果が出ず、冬に厳しい練習をしてきた」（岸川監督）という3年生左腕の重田を指名。

これまで制球にやや難があった重田だが、この日はストリート、チェンジアップ、カーブで大胆にコーナーを突き、見逃しを含む12奪三振。「初戦は力が入るので、コントロールよりも大胆に」という狙いがズバリとハマった。

で、行われ、王が75、
神が80でそれぞれ
先勝した。
王は初回、一回と連
打が出てリードを広げ
た。投球では先発山村洋
輝4年 から4人の継
投で、的を絞らせなかつ
た。商大は2回に浅野雅
加点した。神大の岸川雄

人2年のソロ本塁打、
9回に齋藤介3年
の3点本塁打で追いつけ
たが及ばなかった。
神大は先発の左腕重田

準之助3年 がゴナ
をつき、7回に三振
の好投。打線も小刻みに
打った。神大の岸川雄

二新監督は白星スタートとなつた。国大は6安打を放つたが、勝負所で1本が出なかつた。

◇1回戦（工大1勝）

神奈川工大	2	3	0	0	1	0	0	0	5
横浜商大	1	0	0	0	1	0	0	3	5

九回粘るも届かず

第2週第2日は15日、KAITスタジアムで国大―神大、商大―工大の2回戦を行う。

①：横浜商大は九回裏に
嘉門の3点本塁打で2点差
に詰め寄ったが、届かなか
った。
佐々木監督は、2四球で

1 死一、二聲から一飛に傳へた五回、蕭門の打席を譲るに幸へ、「あそこで打ち上げていよう」では駄目。それが分からなければ前に進めない。表裏は後付けと厳しい表情。

3 連敗と告いし今季のスタートに、蕭門も内容ではなく、最終回に1点でも多く取つていたい。切り替えて新たな気持ちでいく」と話した。

初のリーグ戦 白星飾る

神大の岸川新監督



ベンチから見守る神奈川大の岸川
新監督
＝神奈川工大KAI Tスタジアム

大役を果たした、「岸川監督の初戦を任されたのがうれしいうし、自分の投球ができたのもうれしい」と重田。通算は大塚打の神奈川大学リーグ記録を持ち、プロ野球・西武でもプレーした岸川監督は細いミ入はあったが、リク戦は量で（流れが）変わってくる。これから厳しい試合が続くと思う。いろいろなバリエーションを持った野球をやらないといけない」と気を取り直した。

（和城 信行 写真も）

(和城 信行 写真も)

[illegible][illegible]